

科目名	精神看護学援助論Ⅱ Psychiatric and Mental Health Nursing Care Assistance Ⅱ			担当教員 (研究室番号)		未定 奥野 史子（非常勤）		教員への連絡方法 (メールアドレス)				
履修 年次	1年次 前期	科目 区分	専門科目		選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	否
											遠隔授業	全部
科目 目的	本科目は、精神的な困難を抱えた人の精神状態及び生活の評価に必要な技法を理解し、卓越した看護実践に必要とされる対象を包括的に評価する能力を修得することを目的とする。 なお本科目は、日本看護系大学協議会が定める高度実践看護師教育課程基準（専攻分野共通科目）「2. 精神・身体状態の評価に関する科目」に相当する科目である。											
ディプロ マ・ボリ ン (DP)	主要なDP	7. 看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。										
	関連する DP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。										
到達 目標	1) 精神科における面接法と精神疾患の診断に用いられる概念と評価方法を理解し、説明することができる。 2) 精神症状および精神機能のアセスメントに用いられる評価方法を理解し、説明することができる。 3) 精神症状および精神機能のアセスメントするための様々な臨床検査を理解し、説明することができる。 4) 精神的な困難を抱える人の身体面をアセスメントするための評価方法を理解し、説明することができる。											
成績評価方法 (基準)		①講義に対する事前準備及びプレゼンテーション（50%） ②講義におけるディスカッションへの参加（50%）										
教科書		・ 高度実践看護 統合的アプローチ. へるす出版(2017) ・ 精神看護スペシャリストに必要な理論と技法. 日本看護協会出版会(2009)										
参考書等		・ メンタルステータスイグザミネーション1. 精神看護出版（2017） その他、随時紹介する										
受講者への メッセージ		精神的な困難を抱えた人を支援するためには、対象者を適切にアセスメントし、それをチームや対象者と共有するための「物差し」も必要です。各アセスメント手法や尺度について理解し、臨床での応用可能性について議論していきましょう。										
備考		事前準備 2-15回 ・ 該当する内容に関する国内外の文献から予習する。 ・ 1テーマ約60分間のプレゼンテーションができるよう準備し、授業にプレゼンテーション資料等を持参する。										
回	学習項目				学習内容				主担当 教 員		授業 方法	
1回	高度実践看護におけるアセスメント				・ 本科目の目的・目標と、高度実践看護においてアセスメント技法を学習する意義を理解する ・ 授業日程、学習課題の確認を行い、課題の分担を行う。				未定		ライブ 配信	
2回	精神科面接法①				・ 精神科における面接方法及び看護面接に関する基礎的な知識について学習する。				未定		ライブ 配信	
3回	精神科面接法②				・ 精神科における面接方法及び看護面接に関して、臨床実践の実際について学習する。				未定		ライブ 配信	
4回	精神疾患の診断①				・ 精神疾患の診断方法について、DSM、ICD等に関する基礎的な知識を学習する。				未定		ライブ 配信	
5回	精神疾患の診断②				・ 精神疾患の診断方法について、臨床実践の実際について学習する。				未定		ライブ 配信	
6回	精神の健康状態の査定①				・ Mental Status Examination: (MSE)とMental Health Assessment (MHA)を用いた精神状態の査定について、基礎的な知識を学習する。				未定		ライブ 配信	
7回	精神の健康状態の査定②				・ Mental Status Examination: (MSE)とMental Health Assessment (MHA)を用いた精神状態の査定について、臨床実践の実際について学習する。				未定		ライブ 配信	
8回	心理検査				・ 精神的な困難を抱える人を包括的にアセスメントするために用いられる心理検査について、基礎的知識と臨床実践の実際について学習する。				未定		ライブ 配信	
9回	疾患・状態に特有のアセスメント ①統合失調症				・ 統合失調症を抱える人に対する包括的なアセスメントについて、統合失調症患者の模擬事例のアセスメントを行うことによって学習する。隔離、身体拘束中のアセスメントを含む。				未定		ライブ 配信	
10回	疾患・状態に特有のアセスメント ②気分障害				・ 気分障害（うつ病性障害、双極性障害）を抱える人に対する包括的なアセスメントについて、基礎的知識を確認し、模擬事例のアセスメントを行うことによって学習する。				未定		ライブ 配信	
11回	疾患・状態に特有のアセスメント ③不安障害、パーソナリティ障害				・ 不安障害、パーソナリティ障害を抱える人に対する包括的なアセスメントについて、基礎的知識を確認し、模擬事例のアセスメントを行うことによって学習する。				未定		ライブ 配信	
12回	疾患・状態に特有のアセスメント ④物質使用障害				・ 物質使用障害、認知症を抱える人に対する包括的なアセスメントについて、基礎的知識を確認し、模擬事例のアセスメントを行うことによって学習する。				未定		ライブ 配信	
13回	疾患・状態に特有のアセスメント ⑤ストレス障害、適応障害				・ ストレス障害、適応障害を抱える人に対する包括的なアセスメントについて、基礎的知識を確認し、模擬事例のアセスメントを行うことによって学習する。				未定		ライブ 配信	
14回	疾患・状態に特有のアセスメント ⑥高齢者、認知症				・ 高齢者全般及び認知症を抱える人に対する包括的なアセスメントについて、基礎的知識を確認、模擬事例のアセスメントを行うことによって学習する。				未定		ライブ 配信	
15回	疾患・状態に特有のアセスメント ⑦意識障害（せん妄）				・ 意識障害（せん妄）の状態にある患者のアセスメントについて、基礎的知識を確認し、模擬事例のアセスメントを行うことによって学習する。				未定		ライブ 配信	